SENSHIN まちカカ

かわら版

発行日 2024.1.5
No. 61

発 行:千里新田地区まちづくり協議会　http://www.senri-shinden.jp/　編集委員会

千新まち協　検索

明けましておめでとうございます

千里新田地区まちづくり協議会
会　長　　奥　　保　明

コロナ禍で中止あるいは制約を受けてきた地域活動でしたが、一つ一つ作り替えながら、賑わいや笑顔が以前に増して千里新田地域に戻ってきたことを喜んでいます。

地域諸団体の皆様、各学校園や PTA の皆様のご協力をいただきありがとうございました。地域へ、そして子どもたちへ、たくさんの楽しい経験をしてもらいたいという、みな様方の強い思いがとても頼もしく感じられ、うれしいことでした。「地域に笑顔を」と願って進めてまいりましたが、子どもたちの笑顔が私たちボランティアの笑顔もつくってくれます。笑顔と笑顔の輪が切れ目なく広がり、続いていくことを今年もまちづくり協議会の願いとさせていただきます。『すいすいバス』も試験運行から本格運行になって欲しいです。高齢者にやさしいまちであることも、笑顔のまちの大切な目安です。

地域の若いファミリーには、赤ちゃんが一年で 150 人ほど生まれています。新米のお母さんともども笑顔で迎えて「笑顔つながり」を増やしましょう。児童センターやこども園では、笑顔の仲間が待っています。今年のお正月は、お爺さんお婆さん孫たちで、明るい歓声笑顔があふれたことと思います。この３年ほどはお正月が来なかったような気がします。当たり前であった賑わいをあらためてかみしめることができた今年のお正月。大きくなった孫に驚いて、お年玉を奮発した爺婆も少なくなかったことでしょう。

今年の千里新田地区は、笑顔の豊作になること間違いなしです。

合同防災訓練のお知らせ

日　　時: 1月 21 日(日)
　　9:30～10:30(雨天決行)
想　　定: 9:30地震発生(震度6強)
訓練内容:●家庭で行う訓練
●自治会等で決めた一時避難地へ避難
●緊急避難場所(小学校)へ避難
●情報収集訓練(避難者カードに登録)
●可搬式ポンプによる消火訓練
●消火器操作訓練

千里新田地区
「地域住民還元セール」

１月 21 日（日）の合同防災訓練終了後に、「地域住民還元セール」と称してまちづくり協議会の加盟団体が中心となって「バザー」を開催します。「フードロスや消費ロス」をなくすと共に、家計を直撃した食品・光熱費の高騰に対して、ほんの少しだけでも地域住民の皆様に還元できる取り組みを行います。収益の一部は、児童や園児の登下校時の見守り活動を行っている「青色防犯パトロールカー」の維持管理費に使われます。

青パトの乗車体験もありますので、この機会にぜひご参加ください。

メリークリスマス

12 月の子育てサロン「のびのび」は、沢山の子ども達と親御さんが参加され、サンタさんとの写真撮影やマラカス作り、紙吹雪で大盛り上がりでした。

福祉委員会主催

まち協懇親会

11 月 18 日（土）千里新田地区公民館にて、３年ぶりにまち協懇親会を開催いたしました。夏祭りスタッフ・市民体育祭スタッフの労をねぎらい、地域の皆様との懇親を深めるための会に、大人４２名・子供３名の参加がありました。

奥会長の開会の挨拶、瀬戸口副会長の乾杯の音頭で始まり、会場は、和気あいあいとした雰囲気で、体験された苦労話しなど、色々な話題に花が咲いていました。

終始活気ある会場の雰囲気は、今年もまち協及び各種団体による楽しい地域活動が繰り広げられる予感でいっぱいでした。

皆さんと一緒に活動を進める事を確約し、閉会と致しました。

市民体育祭

千里新田地区連合自治会長
瀬戸口　豪

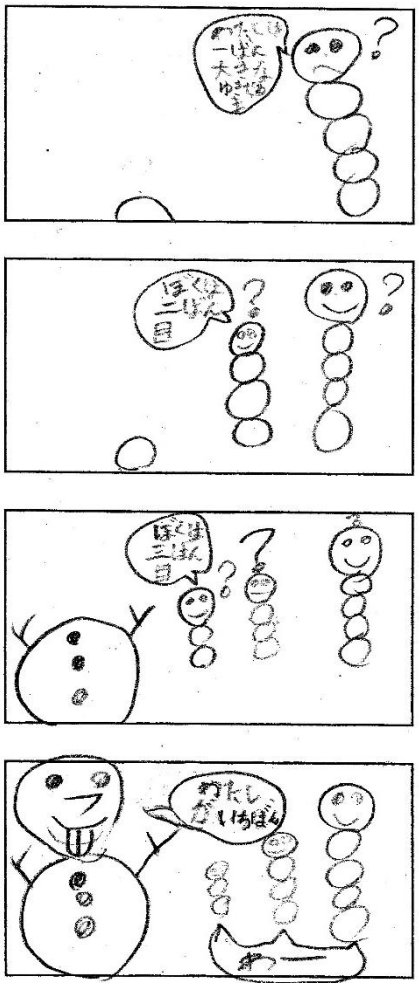
第 35 回千里新田地区市民体育祭を 10 月 22 日（日）に千里新田小学校で開催しました。

コロナ禍で、２０２２年は３年振りに入場者を制限したコンパクトな半日だけの市民体育祭を実施しましたが、２０２３年は４年振りに午前・午後にわたって地区の皆さまが自由に集える市民体育祭を企画し、地域別のブロックテント・椅子・高齢席も復活となりました。

会計的には、この４年間に広告主のイオン南千里店の撤退をはじめ、近隣の事業主廃業等で事業主助成金が６割に減少し、体育祭の経費が不足するため、トナリエ・アネックスや近隣の新しい事業主に依頼し、ほぼ４年前の助成金を確保することが出来ました。また昨今の物価高への対策として、参加者に配布していたブロック別のカラータオルは購入せず、各カラーのビブス着用で対応しました。

今年は久々にブロック対抗レースが復活して、各ブロックテントや本部テントからも自分のブロックカラーの出場選手に大きな声援が続き、毎回の競技結果に大声援！大拍手でした。クライマックスは、最後のプログラム「ブロック対抗リレー」でした。抜きつ抜かれつのデッドヒートに大興奮！皆が手に汗を握り我が陣営に大声援、まさに運動場全体が喜びであふれていました。

夕方には全ての競技が終わり、大きなけがや事故もなく終えることが出来ました。結果、午前は 640 名、午後は 612 名、延べ競技参加者数 1,252 名となりました。4 年前に比べると種目数を減らした分、人数はやや減少していますが、若い人達が多数参加されて、新しく変化しつつある市民体育祭だったと思います。皆さま、楽しんでいただけたと思いますが、どうだったでしょうか？



千里新田小学校　児童

公民館文化祭

千里新田地区公民館
館長　筒井　枝美子

11 月４日(土)5 日(日)コロナ禍の４年間行うことの出来なかった文化祭を開催しました。いろいろな制限の中での模擬店や展示・発表会など試行錯誤を重ねながらの開催となりました。天候にも恵まれ両日とも暖かい陽射しのもと、久し振りに公民館も賑わいました。

同好会の方や地域住民の皆様のご協力を得まして行うことが出来ましたこと、お礼申し上げます。今後も企画運営委員とともに学びの場としての公民館活動を続けてまいりたいと思っております。

千里新田こども園　～秋の自然満喫！遠足でお弁当を食べたよ！～

　自園で作ったサツマイモ掘り！掘ったお芋のツルを使って綱引きごっこをしたり、リースづくりをしたり、１月８日（水）には、ホックホクの焼き芋も食べました！
　また、秋の自然がいっぱいの公園に散策へ行きました。年齢ごとにいろいろな公園に行き、木の実を集めたり、思い思いに自然にかかわって遊んだりと、秋の自然をたっぷり堪能しましたよ。昨年から給食になったこども園では、遠足で食べるお弁当が珍しいので、まだかまだかとお弁当の時間を楽しみにしていた子供たちです。

いろいろな公園で自然遊びしたよ！

掘ったお芋のツルで縄跳びしたよ

お芋掘るよ！
よいしょよいしょ！

焚火をして焼き芋にしたよ！

千里新田小学校

【た】たすけあい　【け】元気いっぱい
【の】伸びゆく子
【こ】心豊かな千新っ子

♪すてきな音色に包まれて♪

今年度の音楽会は二部制で実施しました。１年生から６年生まで、気持ちのこもったすてきな音色を響かせて、体育館は温かい雰囲気でした。
４年１組は吹田市の連合音楽会に出演。大きな拍手をいただきました。

寒さに負けず…かけ足練習

マラソン大会に向けて、かけ足練習がんばりました。長い距離でもペースを守って走ります！

季節の移り変わりが激しく、急激に寒さが進んだ2学期末には、流行性の風邪症状も猛威で、学級閉鎖の措置をとるクラスも複数ありました。3学期も手洗い・うがい・換気を励行し、元気に過ごしたいものです。

南千里中学校　～花いっぱいプロジェクト 2023～

　１０月１８日（水）に、南千里中学校にて「花いっぱいプロジェクト」を行いました。
「南千里中学校」「まちづくり協議会」「南千里地区地域教育協議会」「南千里中学校 PTA」の共同プロジェクトとして、花を育てて学校や街を花でいっぱいにしようという取り組みです。この日は、生徒と地域の方々、PTAのみなさんとみんなで力を合わせてパンジーの苗植えをしました。どのグループからも笑顔があふれ、素晴らしい交流の機会となりました。毎日花プロ委員が、水やりを行い大切に育てた苗を、１２月１日にプランターへの植え替え作業を行い、地域にも贈呈しました。また、南千里中学校では中庭の花壇を利用して、地域の方々と野菜作り（F.G.V.div）を行っております。学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

笑顔いっぱい！！センターまつり

千里山竹園児童センター
館　長　金尾　博之

１０月１５日（日）に「音であそぼう♪～どれみふぁクローバー～」をテーマにセンターまつりを開催しました。４００人を超えるたくさんの参加がありました。広場に笑顔いっぱいの子供達が集まって、大学生によるジャグリングショーでオープニングがスタート。広場はスーパーボールすくい、腕ずもう、わなげ、ボーイスカウト工作コーナー。どのコーナーもとても賑いました。遊戯室はサーキット。自由にコースを回りながら太鼓や鈴等、いろんな楽器を鳴らして楽しみました。集会室の工作では地域ボランティアの方々に教えてもらいながら、かわいいカスタネットとスクラップを作りました。学習室ではジャグリング体験。いつまでも長い列ができていて超人気のコーナーでした。シュガーボックス、皿回しエイトリング等に挑戦しました。地域の皆さんや中学生、大学生とふれあう楽しい時間を過ごせた最高のセンターまつりでした。

ボランティアスタッフとしてご協力いただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。

ちびっこワンツースリーニュー広場

千里新田小学校区主任児童委員
瀬戸口　和代

晴天の 11 月 25 日(土) 『ちびっこワンツースリーニュー広場』が、千里新田こども園で行われました。これは、千二・千三・千里新田地区の子供たちが、おうちの方と一緒に遊びに参加する催しです。コロナが落ち着き、久し振りに地元千里新田こども園で開催されたので、千里新田地区の親子がたくさん参加して下さいました。

大型絵本の読み聞かせでスタートしました。コーナー遊びでは、赤ちゃんコーナー・クラフトコーナー・ボールプール・サーキット遊びなど、いろいろな遊びを親子で楽しむことができました。

先生方が工夫して作ってくださった手作りのおもちゃはとても大人気で、それを使って子どもたちは思いっきり体を動かし、部屋中を行ったり来たり思う存分遊ぶことが出来たようです。

土曜日でもあり、お父さんの参加もたくさんあり、ほほえましい姿をたくさん見ることが出来ました。初めて出会った人たちがほとんどでしたが、自己紹介して会話が弾んで大いに交流が出来たようです。

子どもたちの元気な声、元気いっぱいの動きにスタッフの私たちが反対に励まされ、元気をいっぱいもらったひと時でした。１時間 15 分は、あっという間に過ぎました。

千里新田地区諸団体のご紹介　その３

『青少年対策委員会』

こんにちは、青少年対策委員会です。通称「青対」とも呼ばれています。

青少年対策委員会は、千里新田地区の子どもたちが「安全で安心して過ごすことができる街」、「子どもたちの笑顔が輝く街」をめざして、子どもに関わる多くの団体や個人のみなさんで委員会を構成し活動を行っています。

事業･活動内容は、千里新田小学校の運動場を毎土曜日午前中（9 時～12 時）の開放事業の見守りや、年間を通して園児や児童･生徒を対象にした子どもに関わるたくさんのイベント活動を展開しています。その他にも、学校外でスタンプラリーや地域清掃活動も行っており、私たちが暮らしている街を再発見することのできる取り組みとなっています。

活動の一例として、11 月 26 日（日）に北千里にある「わくわくの郷」で開催した青対デイキャンプを紹介します。朝 9 時 30 分に子どもたちや保護者･スタッフが南千里駅に集合して、切符の購入体験の後に電車移動して北千里駅から歩いてキャンプ場に向かいました。到着してすぐに簡単なミニゲームで盛り上がり、お昼のカレーづくりに向けて火起こしや具材の調理にチャレンジした結果、とっても美味しいカレーをいただきました。昼食後は、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」をみんなで体験し、テンション爆上がりの白熱したゲームとなりました。

今後も、子どもたちが「社会との関わりの中で生きる力」を育むと共に、活動に参加している大人にとっても地域社会の「居場所」となり、参加する方が「楽しい」と感じてもらえる活動を拡げていきますので、どうかよろしくお願いいたします。